



1. 共通教育科目の履修方法



() は単位数

履修区分	配 置 科 目 (単位数)	備 考
必 修	【基幹教養科目群必修科目】 種智院学 (1) 仏教入門A (2) 仏教入門B (2) 宗教と福祉A (2) 宗教と福祉B (2) 人権思想 (2) 自己開発とキャリアデザイン (1)	12単位必修
選 択 必 修	【基幹教養科目群】 ○密教入門A (2) ○密教入門B (2) 社会福祉入門A (2) 社会福祉入門B (2) 世界の宗教 (2) 世界の福祉 (2) 仏教と現代社会 (2) 仏教と習俗 (2) 仏教と文化 (2) 仏教と生命倫理 (2) 福祉文化論 (2) ボランティア論 (2) 生涯学習概論 (2) 介護入門 (2) 日本国憲法 (2)	1. 密教入門A・Bは必修とし、基幹教養科目群から合計12単位選択必修 2. 言語教養科目群から6単位選択必修 3. 1～2で修得した単位以外に、自由に10単位選択必修、共通教育科目で合計40単位修得
自 由 選 択	【文化教養科目群】 宗教音楽A (1) 宗教音楽B (1) 仏教美術A (1) 仏教美術B (1) 密教瞑想A (1) 密教瞑想B (1) 書道A (1) 書道B (1) 茶華道 (1) 日本美術史A (2) 日本美術史B (2) 古文書学A (2) 古文書学B (2) 仏教文学A (2) 仏教文学B (2)	
	【キャリア支援科目群】 寺院運営論 (2) 宗教関係法A (2) 宗教関係法B (2) コンピュータテラシー (7-70) (2) コンピュータテラシー (計画) (2) 文献講読 (2) 体育理論 (2) 体育実技 (1) カウンセリング論A (2) カウンセリング論B (2) 企業実習 (1)	
	【実践宗教科目群】 豊山法儀研究 I (2) 豊山法儀研究 II (2) 豊山法儀研究IV (2) 智山法儀研究1A (2) 智山法儀研究1B (2) 智山法儀研究2A (2) 智山法儀研究2B (2)	
	【言語教養科目群】 総合英語A (2) 総合英語B (2) 英会話A (2) 英会話B (2) 仏教英語A (2) 仏教英語B (2) 福祉英語A (2) 福祉英語B (2) 上級英語 (2)	
	【社会教養科目群】 インド哲学概論A (2) インド哲学概論B (2) 日本思想史A (2) 日本思想史B (2) 中国思想史A (2) 中国思想史B (2) インド思想史A (2) インド思想史B (2) 西洋思想史A (2) 西洋思想史B (2) 倫理学概論A (2) 倫理学概論B (2) 宗教学概論A (2) 宗教学概論B (2) 宗教史A (2) 宗教史B (2) 心理学概論A (2) 心理学概論B (2) 社会学概論A (2) 社会学概論B (2) 法律学概論A (2) 法律学概論B (2) 政治学概論A (2) 政治学概論B (2) 経済学概論A (2) 経済学概論B (2)	

※ 配当年次が2年次以上の科目があるため、配当年次には注意すること。

2. 仏教学科専門科目の履修方法

() は単位数

区分	1年次 配当科目(単位)	2年次 配当科目(単位)	3年次 配当科目(単位)	4年次 配当科目(単位)	卒業 所要単位
概論		仏教学概論A・B(各2) 密教学概論A・B(各2) 密教文化概論A・B(各2) 真言学概論A・B(各2)	事相概論A・B(各2)		4単位 選択必修
地域の 歴史の 展開		仏教史Ⅰ・Ⅱ(各4) インド仏教史Ⅰ・Ⅱ(各2) チベット仏教史A・B(各2) 中国仏教史A・B(各2) 日本仏教史A・B(各2)	密教史Ⅰ・Ⅱ(各4) インド密教史A・B(各2) 中国密教史(各2) 日本密教史A・B(各2)	真言宗史A・B(各2) 祖師概説A・B(各2) 法流概説A・B(各2)	4単位 選択必修
教理の 展開		仏教教理学1A・B(各2) 仏教教理学2A・B(各2) 仏教教理学3A・B(各2) 仏教文化学A・B(各2)	密教教理学1A・B(各2) 密教教理学2A・B(各2) 密教教理学3A・B(各2) 密教文化学A・B(各2)	真言教理学1A・B(各2) 真言教理学2A・B(各2) 真言教理学3A・B(各2) インド文化学A・B(各2)	4単位 選択必修
特殊 講義		豊山教学史研究A・B(各2) 智山教学史研究A・B(各2)	仏教学研究1A・B(各2) 仏教学研究2A・B(各2) 仏教学研究3A・B(各2) 仏教学研究4A・B(各2) 密教文化研究1A・B(各2) 密教文化研究2A・B(各2)	密教学研究1A・B(各2) 密教学研究2A・B(各2) 真言学研究1A・B(各2) 真言学研究2A・B(各2) 事相研究A・B(各2) 密教講伝A・B(各2)	4単位 選択必修
講読		仏教学講読1A・B(各2) 仏教学講読2A・B(各2) 密教文化講読1A・B(各2) 密教文化講読2A・B(各2)	密教学講読1A・B(各2) 密教学講読2A・B(各2)	真言学講読1A・B(各2) 真言学講読2A・B(各2)	8単位 選択必修
演習	仏教学入門演習(4)	仏教学基礎演習(4)	仏教学専門演習(4)	仏教学卒論演習(4)	16単位 必修
実 習	密教法儀A・B(各1) 布教法A・B(各1) 仏像彫刻ⅠA・B(各1) 仏教美術実習A・B(各1)	法式ⅠA・B(各1) 梵字悉曇ⅠA・B(各1) 法流伝授ⅠA・B(各1) 密教眼想法A・B(各1)	声明ⅠA・B(各1) 密教画ⅠA・B(各1) 宗教音楽実習A・B(各1) 書道実習A・B(各1)		8単位 選択必修
		法式ⅡA・B(各1) 声明ⅡA・B(各1) 梵字悉曇ⅡA・B(各1)	密教画ⅡA・B(各1) 法流伝授ⅡA・B(各1)		
上記各区分に定められた単位以上に修得を必要とする単位数(科目は自由に選択)					4単位
仏教学科専門科目必要単位数					52単位

仏教学科履修の注意

1. 共通教育科目の履修に関する注意

(1) 卒業所要科目・単位について

以下の①～④の注意事項は、卒業するまでに満たしておくこと。

①必修科目について

以下の科目の単位は、4年次が終了するまでに必ず修得すること。

種智院学、仏教入門A、仏教入門B、宗教と福祉A、宗教と福祉B、人権思想
自己開発とキャリアデザイン、密教入門A、密教入門B

②基幹教養科目群の履修

当該科目群の中で、12単位を修得する必要がある。12単位のうち、4単位は密教入門A及び密教入門Bを履修する必要があるため、残り8単位を基幹教養科目群の科目から選択し、単位を修得すること。

③言語教養科目群の履修

言語教養科目群の中から、6単位分の科目を履修し、単位を修得すること。

④上記①～③により、卒業に必要な単位数は全部で30単位となる。これに加え、10単位数を共通教育科目の中から自由に選択し、単位を修得すること。

(2) 段階履修科目について

言語教養科目群の「サンスクリット語」ならびに「チベット語」、実践宗教科目群の「豊山法儀研究」は、段階履修科目である。

各科目とも、Ⅰ・Ⅱの単位を修得しなければⅢ・Ⅳを履修することが出来ない。また、春学期において、Ⅰ・Ⅲの単位が修得出来なかった場合、秋学期のⅡ・Ⅳは履修登録が出来なくなり、登録修正をしなければならない。

(3) 再履修が可能な科目について

実践宗教科目群に含まれる科目は、何度でも履修し、単位を修得することが出来る。修得した単位は全て卒業所要単位としてカウントされる。

(4) 専門科目へ関連する科目について

以下の科目を履修し、単位を修得した場合、関連する仏教学科専門科目が履修出来なくなるため注意すること。

共通教育科目として履修	→	履修・単位を修得できなくなる科目
宗教音楽A・B	→	仏教学科専門科目実習領域の宗教音楽実習A・B
仏教美術A・B	→	仏教学科専門科目実習領域の仏教美術実習A・B
密教瞑想A・B	→	仏教学科専門科目実習領域の密教瞑想法A・B
書道A・B	→	仏教学科専門科目実習領域の書道実習A・B
豊山教学史A・B	→	仏教学科専門科目特殊講義の豊山教学史研究A・B
智山教学史A・B	→	仏教学科専門科目特殊講義の智山教学史研究A・B

2. 専門科目の履修に関する注意

(1) 卒業所要科目・単位について

卒業所要単位数は、各区分内で必要な単位数を合計して52単位が必要である。専門科目内の区分において、いずれか一つでも所要単位を満たしていない場合は、当該年度に卒業が出来なくなるため、履修登録の際は、登録科目がどの区分に該当しているかを十分に確認すること。

また、各区分の単位数を合計すると48単位であるが、卒業所要単位52単位を満たすには、4単位分をさらに履修する必要がある点にも注意すること。

(2) 段階履修科目について

主に、実習領域にある科目は段階履修科目である。各科目「Ⅰ」の単位を修得しなければ、「Ⅱ」が履修出来なくなるため注意すること。

(3) 再履修が可能な科目について

専門科目「特殊講義」・「講読」に設置されている科目は、一度単位を修得しても再度履修し、単位を修得することができる。「特殊講義」・「講読」に設置されている科目以外は、一度単位を修得すると、再度履修することはできない。

(4) 共通教育科目へ関連する科目について

共通教育科目の注意事項でも述べたが、一部実習科目を履修し、単位を修得すると、関連する共通教育科目が履修出来なくなるため注意すること。

これに該当する科目は、共通教育科目の履修に関する注意（4）を参照すること。

(5) 真言宗の僧侶に就く場合

将来、真言宗僧侶に就くことを目指す場合は、以下の科目を履修し、単位を修得することが望ましい。

【実習領域】

密教法儀 A・B	梵字悉曇Ⅰ A・B、Ⅱ A・B
法式Ⅰ A・B、Ⅱ A・B	密教画Ⅰ A・B、Ⅱ A・B
声明Ⅰ A・B、Ⅱ A・B	法流伝授Ⅰ A・B、Ⅱ A・B
布教法 A・B	密教瞑想法 A・B

3. 共通教育科目・専門科目から自由に選択する科目について

(1) 卒業所要科目・単位について

卒業するためには、共通教育科目・専門科目に設定されている所要単位を満たし、さらに26単位分の科目を、共通教育科目・専門科目から自由に選択し、単位を修得しなければならない。

①共通教育科目の卒業所要単位40単位のところ、48単位を修得

→修得単位48単位－共通教育科目卒業所要単位40単位＝8単位が自由選択単位

②専門科目の卒業所要単位52単位のところ、60単位を修得

→修得単位60単位－専門科目卒業所要単位52単位＝8単位が自由選択単位

③社会福祉学科の専門科目を履修し、4単位を修得した

→仏教学科の卒業要件に無い科目の単位を修得したため、4単位全て自由選択単位

- ④大学コンソーシアム京都単位互換制度により、他大学の科目を4単位修得した
→仏教学科の卒業要件に無い科目の単位を修得したため、全て自由選択単位
- ⑤特別科目の単位を4単位修得した
→仏教学科の卒業要件に無い科目の単位を修得したため、全て自由選択単位

■真言宗豊山派教師資格に関する科目

(1) 豊山派教師資格の取得に必要な科目

- ①豊山法儀研究Ⅰ 豊山法儀研究Ⅱ 豊山法儀研究Ⅲ 豊山法儀研究Ⅳ
豊山教学史A 豊山教学史B 計6科目
- ②年度毎に豊山派宗務所から指定される科目

※豊山派宗務所から指定される科目は、本学豊山派の教員に確認すること。

(2) 豊山派教師資格に必要な科目の段階履修について

豊山法儀研究Ⅰ～Ⅳは段階履修科目である。Ⅰ・Ⅱは1年次、Ⅲ・Ⅳは2年次で履修が可能であり、Ⅰ・Ⅲはそれぞれの学年の春学期、Ⅱ・Ⅳはそれぞれの学年の秋学期に開講される。

よって、1年次の春学期でⅠの単位が修得出来なかった場合、以降のⅡ～Ⅳが履修出来なくなり、場合によっては、在学中にⅠ～Ⅳ全ての科目の単位が修得出来なくなる可能性もあるため、必ず履修した年度で単位を修得すること。最大で、Ⅰの履修を3年次まで遅らせることが可能である。一方、豊山教学史A・Bは、2年次以降、自由に履修することが出来る。

(3) 豊山法儀研究Ⅰ～Ⅳの学外授業について

この科目は、総本山長谷寺において1週間程度の学外集中授業があるので、必ず参加する必要がある。また、学外授業には別途費用等も必要となる。日程や費用等は詳細が決まり次第、該当学生へ本学豊山派教員より個別に連絡を行う。

その他、指定研修等も実施される場合があり、必ず参加する必要がある。

(4) 受講の際の心構え

豊山法儀研究の授業は、厳しく出欠をとっている。法儀の授業であるから、短髪・法衣着用はもちろん、厳正な態度で授業に臨むよう心がけること。

(5) 履修上の注意

豊山教学史A・Bは、共通教育科目と専門科目にそれぞれ関連する科目が設置されている。

専門科目に設置されている科目の単位を修得すると、教師資格に係る科目が履修できなくなるため、履修の際は充分に注意すること。科目の関連性は以下に示す。

履修してはいけない専門科目	→	関連する豊山派教師資格科目
豊山教学史研究A	→	豊山教学史A
豊山教学史研究B	→	豊山教学史B